

仕様 マルチ周波数体組成計 MC-780A-N (ポータブルタイプ/ポータブルタイプ)

インピーダンス測定部	測定方式	マルチ周波数8電極BIA方式	
	測定周波数	5kHz, 50kHz, 250kHz	
	測定電流	90μA 以下*1	
	電極材質	測定台: ステンレス / ハンドグリップ: ABSメッキ	
体重測定部	測定部位	全身、左腕、右腕、左脚、右脚	
	測定範囲	75.0~1,500.0Ω (0.1Ω単位)	
	計量方式	電気抵抗線式はかり	
	精度等級	3級	
入力項目	ひょう量(最大計量)	270kg (風袋量を含む)	
	目量(最小表示)	0.1kg	
	着衣量(風袋量)	0~10.0kg (0.1kg単位)	
	ID*2	16桁	
	性別	男性 / 女性	
	体型*2	スタンダード / アスリート*4	
	年齢	6~99才*4(スタンダード) / 18~99才(アスリート)	
	身長	90.0~249.9cm (0.1cm単位)	
	目標体脂肪率*2	4~55%(1%単位)	
	ID	16桁	
出力項目	性別	男性 / 女性	
	体型	スタンダード / アスリート	
	年齢	6~99才	
	身長	90.0~249.9cm (0.1cm単位)	
	着衣量	0~10.0kg (0.1kg単位)	
	全身	体重	2~270.0kg (0.1kg単位)
		体脂肪率	3.0~75.0% (0.1%単位)
		脂肪量	0.1kg単位
		除脂肪量	0.1kg単位
		筋肉量	0.1kg単位
		BMI*3	0.1単位
		推定骨量	0.1kg単位
		基礎代謝量*3	0~9999kcal(1kcal単位)
		内臓脂肪レベル*3	1~59レベル(1単位)
		体水分量*3	0.1kg単位
	部位	アスリート指数*3	20~120(1単位)
		MM/H2	0.01単位
		MM/BW	0.01単位
筋肉量		0.1kg単位	
筋肉量評価*3		-4~+4	
脂肪率		1.0~75.0% (0.1%単位)	
脂肪量		0.1kg単位	
脂肪率評価*3		-4~+4	
四肢骨格筋量		0.1kg単位	
SMI		0.01単位	
ボディバランス	ASM/BW	0.01単位	
	フェーズアングル(位相角)	0.1単位	
	体型判定*3	45段階	
	脚部筋肉量点数*3	50~150点	
表示部	セグメントLCD×2		
外部インターフェイス	RS-232Cポート*5(D-sub9ピン)、USBポート*5(タイプB)、USBポート(タイプA:プリンターと接続)、SDメモリーカードスロット*6		
電源	100V AC (50/60Hz)		
消費電流	0.5A以下		
使用条件	温度範囲	5~35℃	
	湿度範囲	30~80% (結露なきこと)	
保管条件	温度範囲	-10~50℃	
	湿度範囲	10~90% (結露なきこと)	
製造国	日本		
付属品	取扱説明書、USBケーブル、専用印刷台紙200枚、SDメモリーカード、ACアダプター、電源コード、テグニカルノート、組立ガイド、結果解説ポスター、持ち運び用保護カバー(ポータブルタイプのみ)		
メーカー希望小売価格	ポータブルタイプ/ポータブルタイプ ¥700,000 (税別)		

*1 JIS医用電気機器規格(JIS T0601-1)に準拠した測定回路を使用したときの値。
*2 設定によっては入力がない場合があります。
*3 17才以下の設定で測定した場合、この項目は表示、印字、出力されません。
*4 17才以下はアスリートを選択できません。
*5 USB-RS232Cポートの同時使用はできません。またオプションの感熱式(サーマル)プリンター使用時は外部出力はできません。
*6 SDおよびUSBメモリーカード互換(32GBまで)対応。SDXCメモリーカードは使用できません。(SDメモリーカードは付属しています)

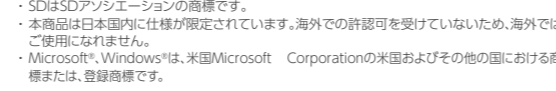
仕様 運動機能分析装置ザリッツ BM-220 非検定

体重測定部	計量方式	電気抵抗線式はかり
	ひょう量(最大計量)	150kg(着衣量含む)
	目量(最小表示)	0.1kg
	着衣量(風袋量)	0.0~10.0kg(0.1kg単位)
入力項目	測定範囲	2.0~150.0kg(0.1kg単位)
	地区/教室名	全角16文字以内
	ID	半角英数字16文字以内
	名前	全角16文字以内
	生年月日	1900年1月1日~
	年齢	6~99才
	性別	男性 / 女性
	身長	90.0~249.9cm(0.1cm単位)
	体型	スタンダード / アスリート*4
	パワー(力強さ)*1	0.50~2.50(0.01単位)
出力項目	スピード(すばやさ)*1	1.0~25.0(0.1単位)
	バランス(ひらつき)*1	1~99(1単位)
	筋力*1	1~99(1単位)
	体重	0.1kg単位
	BMI*2*3	0.1単位
	体脂肪率*2	3.0~75.0%(0.1%単位)
	筋肉量*2	0.1kg単位
	筋肉量判定*2*3	9段階
	筋質点数*2*3	0~100点(1点単位)
	SMI*2	0.1単位
総合得点*2*3	1~150点(1点単位)	
外部インターフェイス	USBポート(タイプB)	
表示部	TN液晶表示	
電源	専用ACアダプター(100V AC 50/60Hz)	
消費電流	80mA以下	
使用条件	温度範囲	5~35℃
	湿度範囲	30~80% (結露なきこと)
保管条件	温度範囲	-10~50℃
	湿度範囲	10~90% (結露なきこと)
製造国	日本	
商品寸法	約 幅342×高さ61×奥行438mm	
本体質量	約4.5kg (ACアダプター含まず)	
付属品	SDメモリーカード(専用アプリケーションソフト入り)、USBケーブル、ACアダプター	
メーカー希望小売価格	¥500,000(税別)	

*1 18~59才の方の判定は参考値としてご覧ください。17才以下の方は測定値のみ表示・印字されます。
*2 対応する体組成計で測定した場合に表示・印字されます。詳しくはP10をご覧ください。
*3 17才以下は表示・印字されません。
*4 17才以下はアスリートを選択できません。

専用アプリケーションソフト 動作環境

対応OS	Microsoft® Windows® 10、8.1
空き容量	インストール領域として150MB 以上
ディスプレイ	解像度: 1024×768ドット以上 表示色数: 32ビットハイカラー以上
外部インターフェイス	USBポート(USB2.0 準拠)



・SDはSDアソシエーションの商標です。
・本商品は日本国内に仕様が限定されています。海外での許認可を受けていないため、海外ではご使用になれません。
・Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または、登録商標です。



筋肉の量を知る。 MC-780A-N

マルチ周波数体組成計 ▶P1~



下肢の筋力とバランスを知る。 BM-220

運動機能分析装置ザリッツ ▶P9~

デモンストレーションのご依頼・各種お問い合わせ 当社、営業担当が本機をお持ちして、機能や活用方法のご提案など詳しくご説明させていただきます。

TEL:03-3558-8111 E: lsdm-f@tanita.co.jp 受付時間 9:00~18:00 (祝日を除く月~金)

お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2 ナビダイヤル(有料) ☎0570-099655 受付時間9:00~18:00(祝日を除く月~金)

デモンストレーションのお申し込みはこちら

株式会社 **タニタ** 本 社 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2

東京営業所 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2 03(3558)8111(代表) FAX03(3558)0335

大阪営業所 〒577-0013 大阪府東大阪市長田中1-3-15 06(6784)2811(代表) FAX06(6784)2778

名古屋営業所 〒465-0072 愛知県名古屋市名東区牧の原2-707 052(704)2201(代表) FAX052(704)2221

福岡営業所 〒812-0882 福岡県福岡市博多区表野4-2-6 092(575)5761(代表) FAX092(575)5617

北日本営業所 〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区福岡1-6-8 022(299)7161(代表) FAX022(299)7163

(株)タニタ秋田 〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28-1 0187(66)2122(代表)

お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2 ナビダイヤル(有料) ☎0570-099655 受付時間9:00~18:00(祝日を除く月~金)

(株)タニタ本社・東京営業所・大阪営業所・(株)タニタ秋田は、ISO9001の認証登録事業所です。

タニタの体組成計は、世界でも有数の実績を持つブランド

体組成分析のパイオニアであるタニタは、1992年に世界で初めて「乗るだけではかれる体脂肪計」を開発・発売しました。その後、体脂肪計は体組成計へと進化し、世界中で使用されています。

■ TANITA が選ばれる理由

日本で、世界で、政府統計に使用



日本をはじめ、世界の政府統計ならびに政府の研究事業調査でタニタの体組成計は使用されています。

- [アメリカ] 2004年 アメリカ国立衛生研究所
European Journal of Clinical Nutrition 論文に掲載
- [イギリス] 2006年 MRC分子生物学研究所(国立研究所)
International Journal of Obesity 論文に掲載
- [日本] 2016年 文部科学省 スーパー食育スクール統計調査
2017年 厚生労働省 国民健康・栄養調査
2019年 環境省 エコチル調査

世界110カ国以上で発売



タニタの体組成計は、日本をはじめ世界110カ国以上で発売しています。また、11の海外系列会社を構え、世界にネットワークを広げています。

高精度を追求した体組成分析へのこだわり



目に見えないものだからこそ、精度を追求したい。タニタの体組成分析技術は、研究開発・機器設計・製造に至る、すべてのプロセスにおいて、細部までこだわっています。すべてのお客様を納得させる“精度へのこだわり”を常に考え、実現していきます。
▶詳しくはP2、P4～P5をご覧ください。

充実したアフターサービス体制



タニタでは年間700件以上の保守メンテナンス、修理サービスの実績があります。ご購入機器を永くご愛顧いただけるよう現地点検・修理、お預り対応など、状況に合わせた迅速なアフターサービスを行っています。また万が一のときに安心な「保守点検付きの長期保証パック」もご用意しています。▶詳しくはP8をご覧ください。

高精度を追求した MC-780A-Nの体組成分析技術

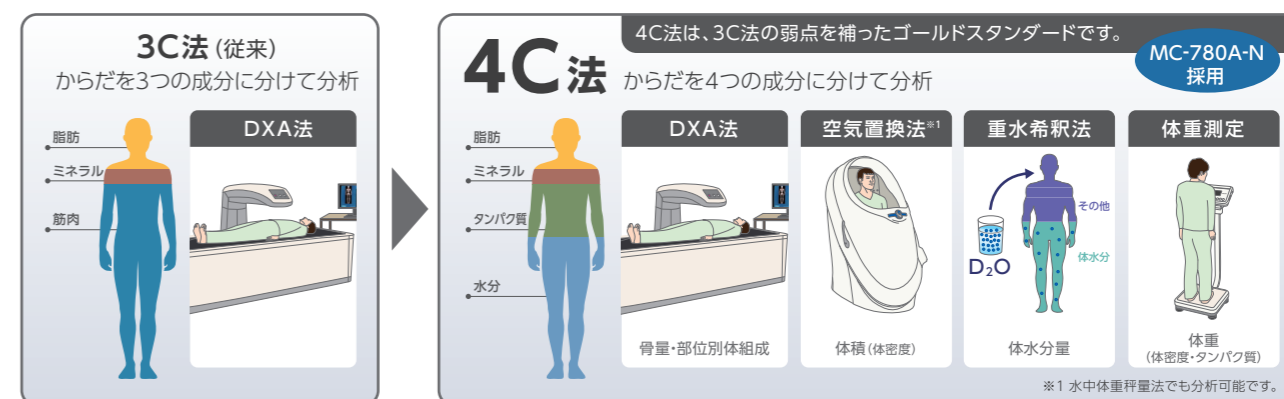
体組成計では、取得したからだの電気抵抗値(インピーダンス)と分析アルゴリズムから、体組成を分析します。タニタのアルゴリズムは、国内外の各研究機関と連携し、豊富な研究実績に基づき開発しています。

1 最も正確な*4C法を基礎データとしたアルゴリズムを開発

体組成計に搭載されている分析アルゴリズムは、“基礎データ”と呼ばれる正確な測定法(ゴールドスタンダード)で取得したデータを基に開発しています。これが不正確だと、体組成計での分析結果にも誤差が生じるため、基礎データは体組成計の精度を決める重要な要素です。タニタでは正確な基礎データを収集するため、からだを4つの成分(脂肪・ミネラル・タンパク質・水分)に分けて分析する 4 Compartment model method(=4C法)を採用しています。 *体組成を分析する間接法の中で最も正確とされています。

■ 基礎データは、「3C法」から「4C法」の時代へ

4C法は、DXA法の弱点を補うため、これに加えて、空気置換法*1、重水希釈法、体重測定を組み合わせることで体組成を分析します。これにより、DXA法のみから分析する 3 Compartment model method(=3C法)を超える精度での分析が可能です。



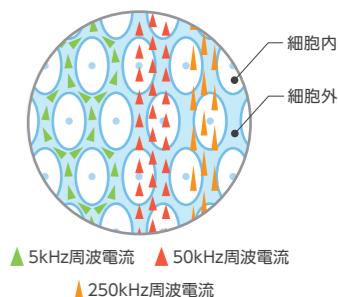
2 カテゴリ別のアルゴリズム

男性と女性では、同じインピーダンスでも実際の体組成は異なることが明らかになっています。そのため、男性と女性を同じアルゴリズムではなく、異なるアルゴリズムで分析する方が、精度が向上します。タニタでは、これまでに取得した15000人以上の基礎データを基に性別・体形・年代別のアルゴリズムを用意しています。



3 マルチ周波数測定とリアクタンス分析

3つの周波数を用いて測定を行うマルチ周波数測定に加え、細胞膜の電気的な情報であるリアクタンスを分析に用いています。これらにより、細胞の内液と外液に分けた精密な分析が可能となり、分析精度の向上を実現しています。



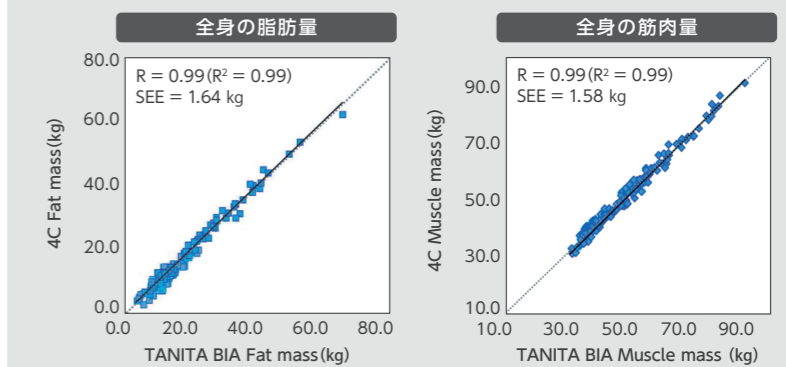
4 安定した測定姿勢

体組成を正確に分析するためには、インピーダンスを正しく取得する必要があります。正確なインピーダンスの測定には、安定した測定姿勢が不可欠です。MC-780A-Nは、コード型電極を採用し、いつでも安定した測定姿勢がとれる工夫をしています。より正確な測定をするため、機器の細部にまでこだわっています。



■ ゴールドスタンダードとの比較結果

タニタの体組成計による分析結果は、ゴールドスタンダードとの比較検証が行われています。その結果、高い相関が認められ、精度が証明されています。



特徴



選べる2つの仕様
運用方法によって、ポールタイプとポータブルタイプをお選び頂けます。



測定時間 約15秒
約10秒の高速起動に加え、短時間で測定が終了するので、測定者様にもスタッフ様にも低負担で運用できます。



Made in Japan
日本国内の自社工場で生産しています。



SDメモリーカードへ保存
測定結果がCSV形式で保存され、測定データの集計に優れています。



基準適合証印
体重証明用に使用可能
型式承認取得品なので、医療機関での体重証明用として使用可能です。



運動機能分析装置と連携が可能
筋肉の量に加え、筋力やバランス、筋肉の質を分析できます。
▶詳しくはP10をご覧ください。



ポールタイプ

Multi Frequency Segmental Body Composition Analyzer

MC-780A-N

据え置き型



キャスター付きで移動がラク

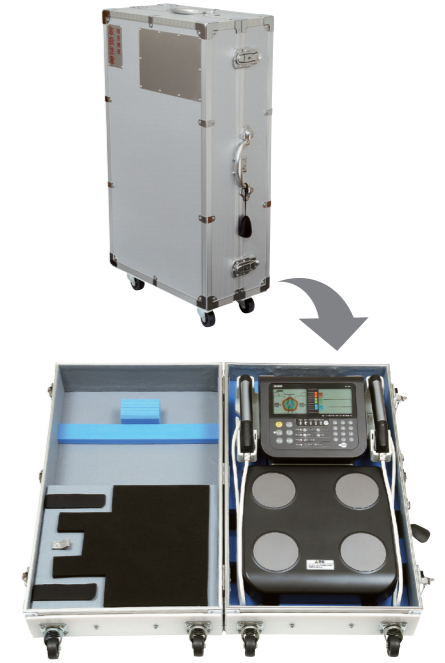
持ち運び型

MC-780A-N Multi Frequency Segmental Body Composition Analyzer

ポータブルタイプ



本体重量
約 **11.1** kg



*キャリングケース(別売)で保管と移動が便利です。

据え置き型で省スペース運用

省スペース運用

据え置き型でも、コンパクト。場所をとらないので、省スペースの運用が可能です。

運用に合わせて表示部を変更可能

設置スペースに合わせて表示部を前後2段階に調整ができます。また、取り外して使用することもできます。

キャスター付きで設置場所の移動、変更も可能

本体重量約15.5kg。キャスター付きなので、設置場所の変更も手軽にできます。

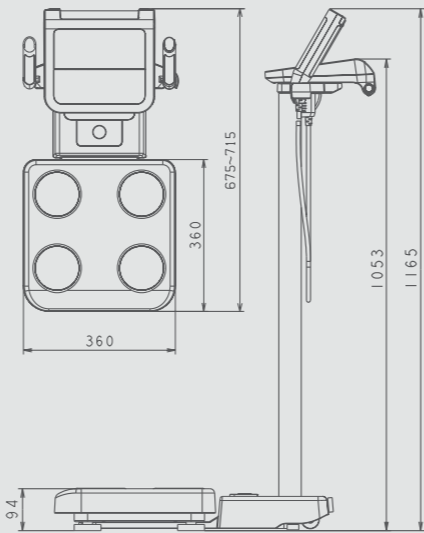


DG(ダークグレー)

WH(ホワイト)

寸法図 (単位:mm)

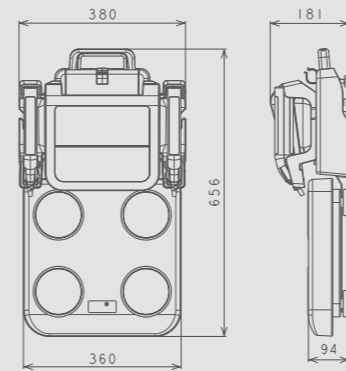
質量: 約15.5kg
ACアダプターケーブル長さ: 約3.4m
*ポールタイプは組み立てが必要です。



*寸法は概略です。

寸法図 (単位:mm)

質量: 約11.1kg
接続ケーブル(表示部と測定部)長さ: 約1.5m
ACアダプターケーブル長さ: 約3.4m



*寸法は概略です。

持ち運び型で測定場所が多様

持ち運びに便利な軽量仕様

本体重量約11.1kgの軽量仕様。外出先での研究用途や複数施設での持ち回り、同じ施設内での移動にも便利です。

表示部と測定部を自由に配置

表示部と測定部が固定されていないので、表示部を使いやすい位置に置くことが可能です。

キャリングケースを使用して保管も移動も便利に

キャリングケースを利用することで、保管も持ち運びも便利です。また、測定マット兼用の保護カバー付きで本体を守ります。

*設計が異なるため、ポールタイプへの変更はできません。



DG(ダークグレー)



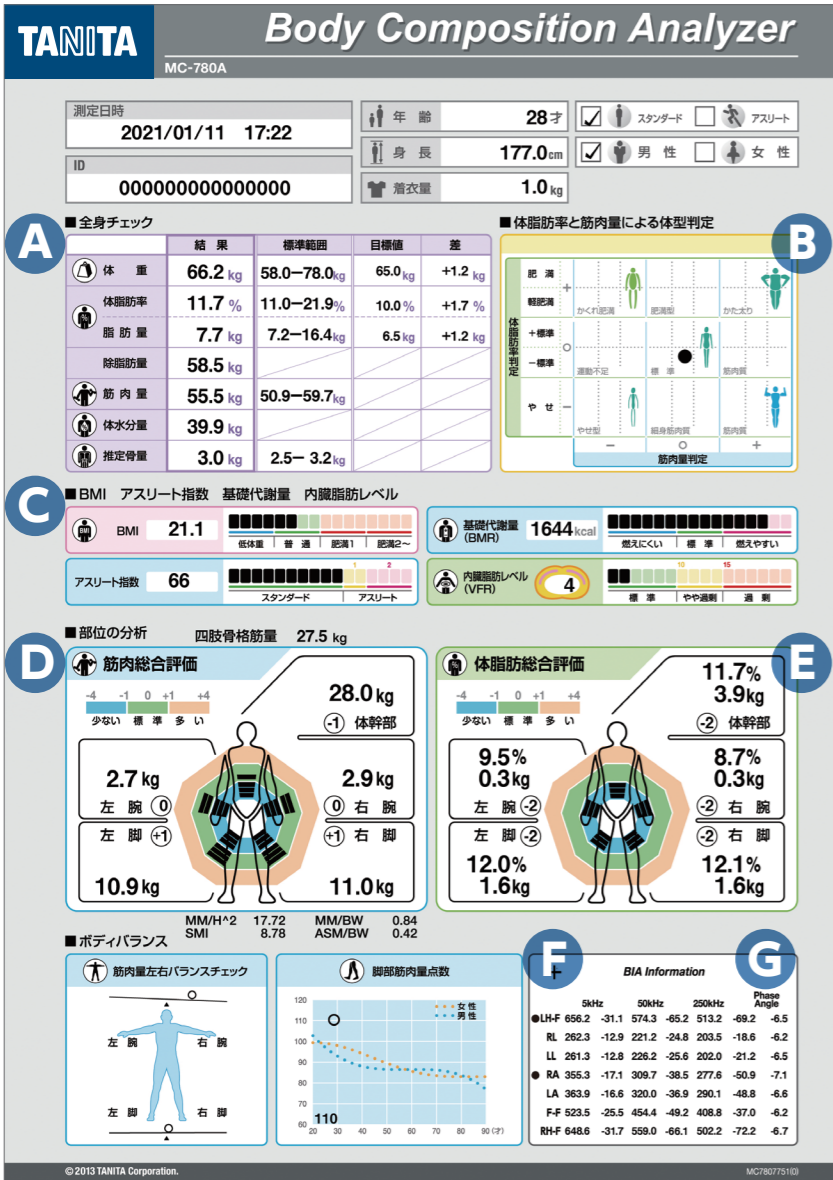
WH(ホワイト)

*設計が異なるため、ポータブルタイプへの変更はできません。

選べる3つの運用方法 1 2 3

1 標準運用 対応プリンター*と接続するだけ

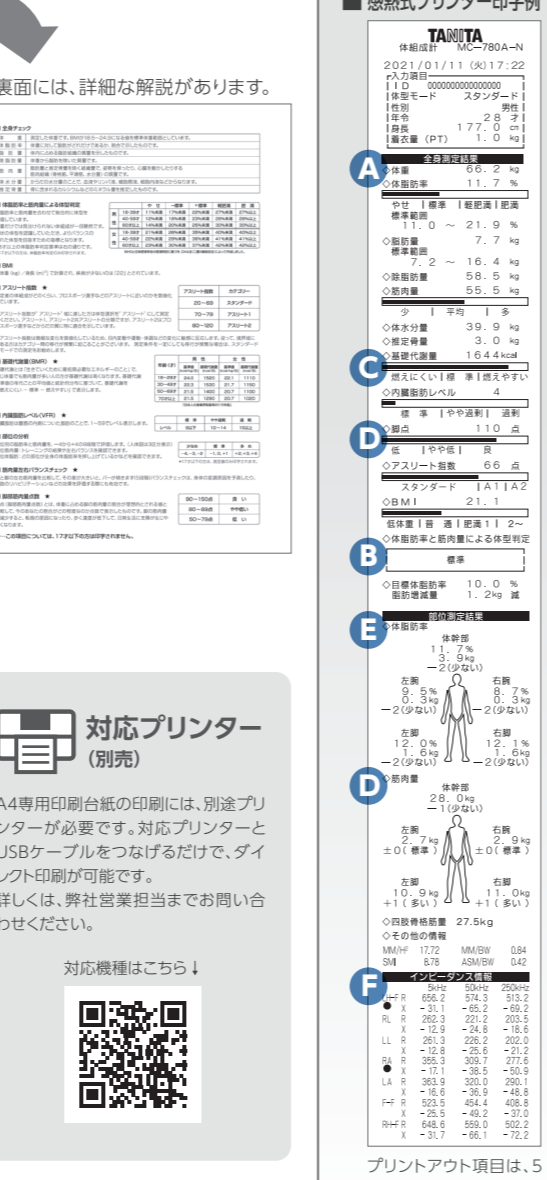
■MC-780A-N専用印刷台紙 印字例



*専用印刷台紙は本体に200枚付属されています。

2 サーマルプリント運用 OP-202 (別売) と接続するだけ

■感熱式プリンター印字例



対応機種はこちら↓

A 全身チェック

測定数値を表示します。

体重 …… 測定した体重です。型式承認取得品なので、カルテや健診に使用可能です。

脂肪量 …… 体内に含まれる脂肪組織の質量を示したものです。

筋肉量 …… 姿勢を保ったり、心臓を動かしたりする筋肉組織(骨格筋、平滑筋、水分)の質量です。

体水分量 …… 血液やリンパ液、細胞間液、細胞内液など体内に含まれる水分量を表しています。

推定骨量 …… 骨に含まれるカルシウムなどのミネラル量を推定したものです。

除脂肪量 …… 体重から脂肪量を引いた質量です。

B 体脂肪率と筋肉量による体型判定※1

体脂肪率と筋肉量を合わせて総合的に体型を評価しています。

C BMI、BMR、アスリート指数、内臓脂肪レベル

測定結果を分かりやすくパーで判定します。

BMI※1 …… [体重/身長(m)²] で計算されます。

基礎代謝量 (BMR)※1 …… 測定者の体組成に基づいた基礎代謝量を表示・判定します。

アスリート指数※1 …… 測定者の体組成がどの程度プロスポーツ選手などのアスリートに近いのかを数値化しています。

内臓脂肪レベル (VFR)※1 …… 腹腔内(内臓のまわり)についての脂肪をレベル表示します。

3 履歴管理・データ保存運用 Get In Shape-N と PC + プリンター

履歴管理ソフト Get In Shape-N NV-191

ゲット イン シェイブ

体組成の経時変化をPCで管理 運動や栄養指導の効果測定に最適

- 測定値の推移をグラフで表示。(過去12回分)
- メンバー情報を登録でき、測定時のプロフィール入力の手間を削減。(登録可能最大人数10000人)
- メンバー情報と測定データをCSV形式で出力が可能。



対応OS	Windows® 10 (64bit版)、8.1 (32、64bit版)
ハードディスク	インストール領域として150MB以上
ディスプレイ	解像度: 1024×768ドット以上 表示色数: 32ビットハイカラー以上
外部インターフェイス	USBポート (USB2.0準拠)
付属品	USBケーブル×2本、専用印刷台紙1箱(1000枚/A4)

▲運動機能分析装置 ギリツ BM-220ご使用時はお使いいただけません。

Get In Shape-N の特徴

H 過去履歴、グラフ

体脂肪率や筋肉量、SMIなど計9項目の中から、3項目を選んで、過去12回分の過去データを数値とグラフで表示できます。また、初回値も確かめることができます。

D 筋肉総合評価※2、ボディーバランス※2

筋肉量を部位別に分析した値です。栄養指導や筋力トレーニングに必要な情報を提供します。

筋肉量左右バランスチェック※1
左右の腕と脚の筋肉量を比較し、バランスをチェックします。

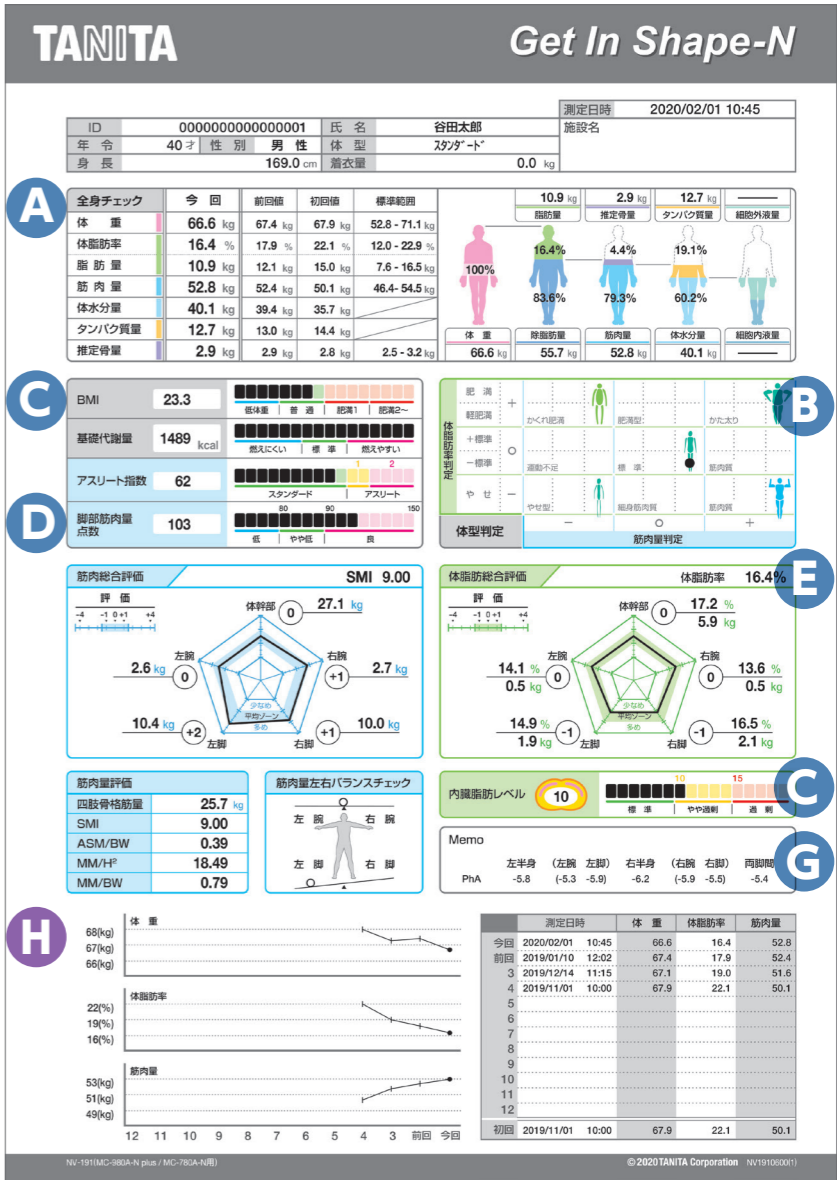
脚部筋内量点数※1
体重に占める下肢の筋肉量を指標化し、加齢により衰えやすい脚力を評価します。

筋肉に関する研究項目

- 四肢骨格筋量 …… 左腕、右腕、左脚、右脚の筋肉量の合計値
 - SMI …… 左腕、右腕、左脚、右脚の筋肉量の合計値(kg)/身長(m)²
 - ASM/BW …… 左腕、右腕、左脚、右脚の筋肉量の合計値(kg)/体重(kg)
 - MM/H² …… 全身筋肉量(kg)/身長(m)²
 - MM/BW …… 全身筋肉量(kg)/体重(kg)
- ▶SMIに関してはP7をご覧ください。

※2 17才以下の方の部位別の評価は印字されません。

管理ソフトNV-191(別売) 印字例 ▼裏面には、詳細な解説があります。



※2 17才以下の方の部位別の評価は印字されません。

筋肉量を知る

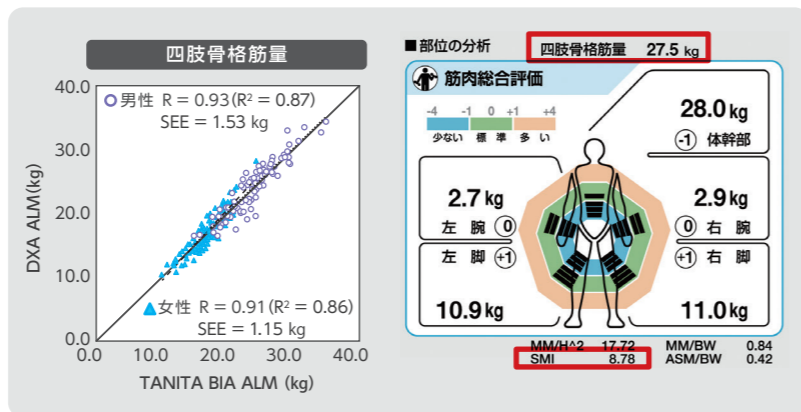
フレイル・サルコペニアによって注目される筋肉量

サルコペニアにおける確定診断としては、四肢骨格筋量を身長で除した値であるSMI (Skeletal muscle Mass Index)が使用されます。MC-780A-Nは、四肢骨格筋量とSMIを同時に印字しますので、サルコペニア評価として、現状の把握や運動指導の効果測定に活用いただけます。

SMIの基となる四肢骨格筋量の分析アルゴリズムを公開

タニタは、四肢骨格筋量の分析アルゴリズムを外部の研究機関と共同で開発し、論文上で公開しています。(Yamada et al., 2017) 測定データの妥当性が示されているため、臨床はもちろん、研究分野においてもご活用いただけます。

男性:ALM = (0.6947×Ht²/Z50) + (-55.24×(Z250/Z50)) + (-10940×(1/Z50)) + 51.33
 女性ALM = (0.6144×Ht²/Z50) + (-36.61×(Z250/Z50)) + (-9332×(1/Z50)) + 37.91
 ※Ht:身長, Z5:5 kHzでのインピーダンス*, Z50:50 kHzでのインピーダンス*, Z250:250 kHzでのインピーダンス*
 *それぞれのインピーダンスは、左半身と右半身の平均値を用います。

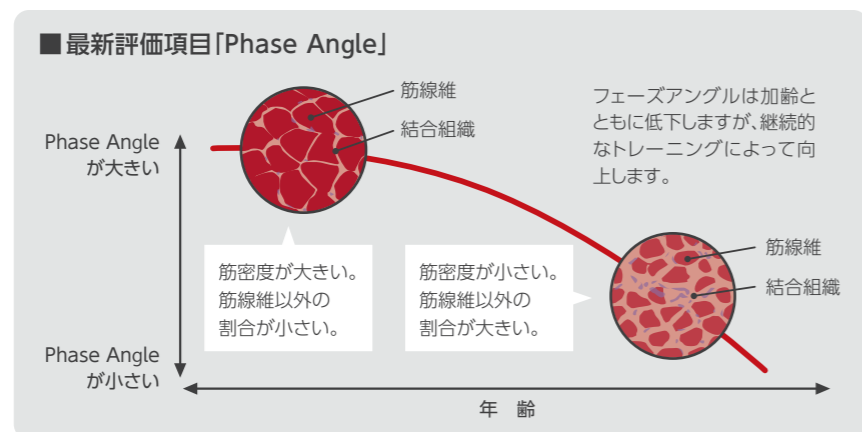


注目される指標 Phase Angleを測定経路ごとに表示

Phase Angle (位相角、位相差、PhA)は、50kHzの電流を細胞の内外へ流した際に得られる情報を元にした評価指標です。身体の現状確認や運動指導の効果測定などの指標として注目されています。

Phase Angleは筋線維の密度や細胞膜の健全性を反映

Phase Angleは、健康者やアスリートなどの筋密度が大きい方や、構造的完成度が高い細胞膜を持った正常細胞が多い状態では、大きくなります。一方で、老化や運動不足などによる筋密度の低下や、細胞膜の構造的な損傷を生じた障害細胞が多い状態では小さくなります。Phase Angleは筋量よりも敏感に変化する傾向があるので、女性や高齢者などでも運動の効果がわかりやすく、運動習慣継続のモチベーションに役立ちます。MC-780A-Nでは、Phase Angleが測定経路ごとに表示されるので、部位ごとに評価することができます。



より便利に安心してご使用いただくためのツール

マルチ周波数体組成計 MC-780A-N オプション

通常印刷時に使用するMC-780A-N専用台紙です。裏面には詳細な解説付き。
 MC780A-01 MC-780Aシリーズ 専用印刷台紙 1箱(1000枚/A4)※1
 ¥15,000(税抜)

おすすめ

詳しくはP6をご覧ください。
 測定結果を経時的に管理可能なPC用ソフトです。
 NV191AN000000A データ管理ソフトNV-191 (Get In Shape-N) NV-191専用印刷台紙付き
 ¥120,000(税抜)

Get In Shape-N専用の印刷台紙です。裏面には詳細な解説付き。
 NV1910000RE02A NV-191専用印刷台紙 MC-780A-N用 1箱(1000枚/A4)※2
 ¥18,000(税抜)

体組成計とPCを無線で連携可能です。NV-191使用時に便利です。
 OP-102RU ワイヤレスアダプター
 ¥36,000(税抜)

測定台への昇降を補助する手すりです。高齢者が多い施設に最適です。
 OP-502 昇降補助手すり
 ¥45,000(税抜)

ポータブルタイプ専用

内部の画像はP4をご覧ください。
 ポータブルタイプの持ち運びや保管に便利なキャリングケースです。
 MC-780A-CC MC-780Aシリーズ ポータブル用キャリングケース
 ¥80,000(税抜)

測定結果の印字が早い感熱式プリンターセットです。
 OP-202 感熱式プリンターセット (専用感熱紙4巻 OP-300付)
 ¥70,000(税抜)
 OP-300 専用感熱紙4巻セット
 ¥3,000(税抜)

連携商品

脚の筋力をはかる。体組成計と連携することで、筋肉の質もチェック可能です。
 BM-220 運動機能分析装置 ザリッツ
 ¥500,000(税抜)

保守点検付き長期保証パック(5年保証)^{※3} 毎年1回定期点検 + 故障時無償対応^{※4} + 指定消耗部品交換

「保守点検付き長期保証パック^{※3}」は、毎年1回の定期点検に加え、購入3年目には、指定消耗品部品の交換を実施し、機器を常に良好な状態に保ちます。また、万が一、契約期間中に通常使用による故障が発生した場合の修理工賃や出張費、部品代の追加料金は発生しません。機器を長期間、安心してご使用いただける充実したサービス内容となっています。「機器の測定精度維持」や「点検修理費用の予算化」をご希望されるお客様におすすめのサービスです。

※3 ご加入いただけないエリアがございます。※4 通常使用による故障に限ります。

■保守点検パック概要図

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
定期点検	●	●	●	●	●	契約終了
修理発生時	工賃・出張費無償					
部品交換時	部品代無償					

保守点検付き長期保証パックの料金体系や詳細は、弊社営業担当までお問い合わせください。

運動機能分析装置の単独使用 筋力・バランス『運動機能』を知る



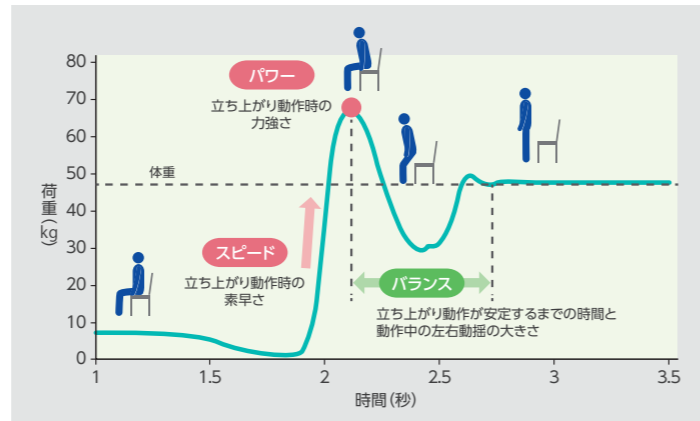
非検定
運動機能分析装置
zaRitz
ザリッツ
BM-220

運動機能分析装置ザリッツBM-220では、下肢筋力とバランスを簡単に測定でき、わかりやすく結果を表示します。

イスから『立ち上がって、座るだけ』の簡単2ステップ

短時間、省スペース、低負担で下肢の運動機能が簡単にチェックできます。それが運動機能分析装置ザリッツBM-220です。BM-220では、イスから立ち上がり、座るという動作で、測定者の脚の筋力をパワー、スピード、バランスの3つの指標で分析・評価します。

■立ち上がり動作時の荷重変動グラフと各指標



履歴管理も簡単、教室ごとに管理可能

測定結果は、PCに保存され、継続的な変化も簡単に確認ができるので、リハビリやトレーニングの効果測定に最適です。また、登録者の情報を教室ごとに管理ができるので、地域単位、施設単位の使用に便利です。

*本商品にPCは付属しておりません。プリンター、机、イスはご用意ください。



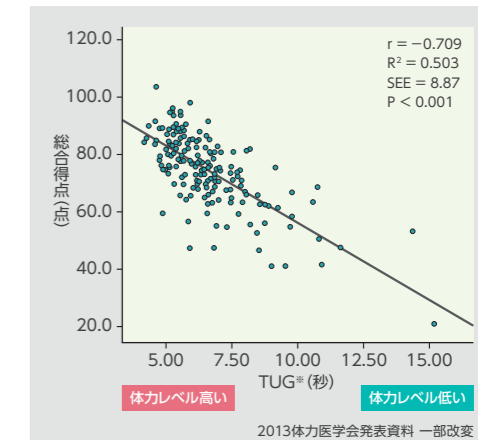
体組成計と運動機能分析装置の連携『筋肉の質』も知る

筋肉の量と質、運動機能を分析し、総合得点として表示します。

体組成計との連携で“運動機能がよりわかりやく”

体組成計と運動機能分析装置ザリッツBM-220を連携されることで、筋肉の「量」に加え、「質」も評価できます。また、これらの指標と運動機能を総合的に評価した「総合得点」も表示されます。これは、運動機能の評価として使用されるTUG(Time Up & Go)と強い関係性が確認されており、より簡単に運動機能の把握が可能となります。

■総合得点とTUGの関係性



*TUG:Timed Up & Go test イスに座った状態から、立ち上がり3mを最大速度で歩き、ターンして戻ってきて、再びイスに座るまでの時間

医療機関・健診施設の事例 (MC-780A-NとBM-220の連携)

■メディカルフィットネスの例 地域の健康増進に活用

履歴が分かるので、効果測定や動機づけに最適

運動に取り組んだ成果を数値化(=成果の見える化)し、利用者へ結果をフィードバックしています。これにより、運動継続の動機づけとなり、その効果を実感していただいております。



■健診施設の例 健診のオプションとして導入

低負担で簡単に運動機能をチェック可能

フレイル予防には、筋肉量に加え、筋力やバランスといった運動機能も重要と考え機器を導入。健診の有料オプションとして、BM-220を活用し、総合得点などの結果用紙が見やすく、受診者へも好評です。



■アプリソフト表示例

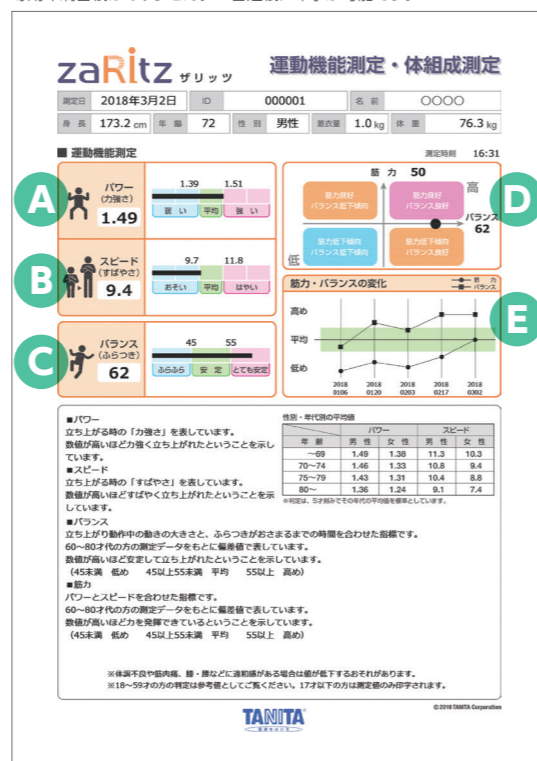


*カタログ掲載の画像とソフトウェアの画像には、若干の相違がある場合がございます。

- A パワー**
▶0.50~2.50(0.01単位)
立ち上がり動作時の力強さを表しています。数値が高いほど強く立ち上がったことを示します。
- B スピード**
▶1.0~25.0(0.1単位)
立ち上がる時のすばやさを表しています。数値が高いほどすばやく立ち上がったことを示します。
- C バランス**
▶1~99(1単位)
立ち上がり動作が安定するまでの時間と動作中の動揺の大きさから算出した指標をバランスとして表示します。数値が高いほど安定しています。
- D 筋力とバランス**
パワーとスピードより算出した筋力とバランスの値から、運動機能を判定します。
- E 履歴**
筋力とバランスの経時変化を確かめられます。

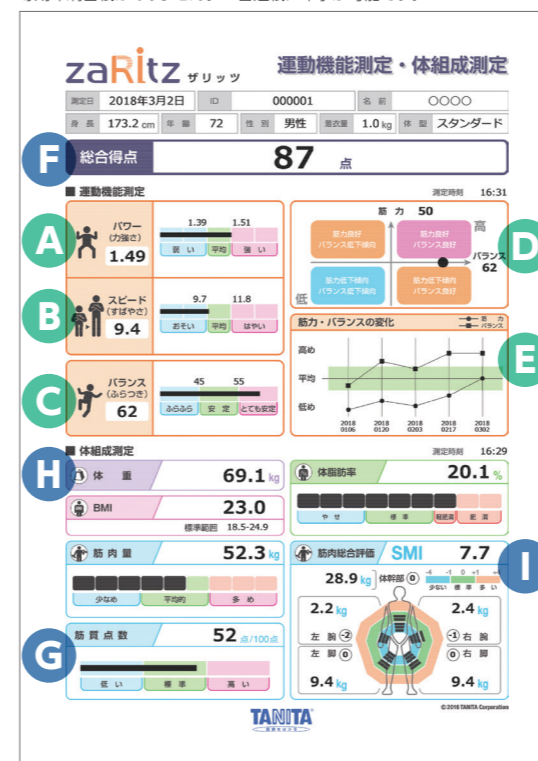
■BM-220単独使用時のプリントアウト例

専用印刷台紙はありません。A4普通紙に印字が可能です。



■体組成計連携時のプリントアウト例

専用印刷台紙はありません。A4普通紙に印字が可能です。



体組成計とBM-220の連携

- [連携可能機器]
- ・MC-780A-N
 - ・MC-980A-N plus
 - ・DC-430Aシリーズ

- F 総合得点**
BM-220から得られる筋力、バランスと、体組成計から得られる筋肉の情報を総合指標として表しています。75点が平均値となります。
- G 筋質点数**
筋質とは、加齢や運動習慣により変化する「筋肉の質」のことです。若年層や運動習慣がある人の筋肉は良い状態にありますが、加齢や運動不足により、その状態は低下します。この筋肉の状態を点数として評価しています。
- H 全身体組成結果**
体組成計で分析された全身の測定結果(体重、BMI、体脂肪率、筋肉量)が印字されます。
- I 部位別体組成結果**
体組成計で分析された部位別の測定結果(筋肉量、SMI)が印字されます。

*DC-430Aシリーズでは表示されません。

MC-780A/MC-980Aシリーズと組み合わせた場合の表示例です。